

礼文町

質問事項作成：日置雅晴（2002年7月16日作成）

回答：礼文町役場企画観光課 和泉氏（8月26日受領）

1 レブンアツモリソウの現状把握について

町でレブンアツモリソウの生息状況を把握しておられるようであれば、その内容についてお教えてください。

かつて、香深地区の南部にも自生していたが、現在は船泊地区（鉄府など）の北部に限られ、生息数は4000本～15000本。

かつては島内全域にレブンアツモリソウが見られたそうですが、それはいつ頃までのことでしょうか

利尻・礼文・サロベツ国立公園に指定される昭和49年以前

レブンアツモリソウの盗掘が多いと言われていますが、その実情を調査されたことはありますか あればその結果をお教えてください

4～5年前までは1～2件/年程度

2 保護増殖事業について

町がやっているレブンアツモリソウの保護増殖事業の概要をお教えてください。
（培養センターは調査済みです）

監視員2名の配置（5/1～10/31）防護柵の設置

夜間監視の実施（5月下旬～6月中旬）

礼文島高山植物保護対策協議会設置（S58）

レブンアツモリソウ人工栽培に成功して大量増殖が可能となった場合

- 1 町としては、自然に戻すことは考えておられるのでしょうか
具体的な検討をされているのであれば、その内容をお教えてください

鉄府群生地に戻すという当初の目的は変わっていない

- 2 自然に戻す以外にどのような活用を考えておられるのでしょうか

一部に土産品としての販売などの声もあるが、考えてはいない

林野庁，環境庁，町それぞれで保護増殖事業をやっておられますが，3つの主体の事業の関係，協力関係などについてお教えてください。

今後事業を一体化して，活動を強化することは考えられるのでしょうか。

レブンアツモリソウ保護増殖事業者連絡会議の開催
一部一体化となって調査研究。

3 礼文町における自然保護策の経緯について

礼文町独自の自然保護政策，特にレブンアツモリソウ保護政策について，年代順にどのような施策をとられてきたのかお教え下さい。

別紙のとおり

4 自然保護と観光について

礼文島にくる観光客の数の近年の推移状況をお教えてください。(できれば月別の数も)
別紙資料

レブンアツモリソウの存在は，島の観光事業にどの程度寄与しているのか，検討したことはありますか あればその結果をお教えてください。

大事な観光資源，また”花の島”を代表する貴重な自然の財産として位置づけ，必然的に保護・保全に努めている

レブンアツモリソウの保護策の強化(生息地域の公開制限強化など)がなされるとすれば，観光にどのような影響を与えるか検討したことはありますか あればその結果をお教えてください。

現在の保護・監視体制で盗掘は防止され，公開制限等は考えていない

町として，観光と自然保護の両立のために特に工夫されていることがあればその内容をお教えてください。

庁内は勿論。関係機関との連携・連絡強化。盗掘防止キャンペーン

5 関連資料に関するお願い事項

町で作成された，レブンアツモリソウや自然保護に関する調査レポート，報告書，パンフレット類があれば1部いただけますでしょうか。

町に関するパンフレット（町勢案内など）もあればいただけますでしょうか。

別紙

6 国の自然保護政策等に関する意見要望

弁護士会では、希少生物の生息地などを調査し、地域住民や自治体などの実情を調査した上で、必要に応じ、国などに意見書を提出したりして、自然保護政策などの改善を要望したりしています。

地方自治体として、現在の国の自然保護政策に関して、ご意見、ご要望があればお聞かせください。弁護士会の意見作成の際に参考とさせていただきます。

現在の所特になし。